

授業科目名	子どもの保健Ⅱ	担当教員名	七田 つたえ
必修/選択	必修(保育士資格)	開講学年・学期	3年 後期(年間開講数 1講座)
科目区分		単位数	1単位
施行規則に定める科目区分等		授業方法/担当形態	演習 / 単独
		特記事項	※実務経験のある教員等による授業 看護師としての実務経験を活かして、実例を多く取り上げて授業を行っている。
授業の到達目標	(1)子どもの安全を保障するための日常の養育環境の整え方と、病気やけがの時は医学的知識に基づいた適切な対処方法を学ぶ。 ①子どもの健康及び安全に関わる保健活動の計画及び評価ができる。 ②子どもの健康増進及び心身の発育・発達を促す保健活動や環境を考えることができる。 ③子どもの疾病とその予防及び適切な対応ができる。 ④救急時の対応や事故防止、安全管理に取り組むことができる。 ⑤現代社会における心の健康問題や地域保健活動等について関心を持つことができる。		
授業の概要	実務経験のある助産師が適切なデモンストレーションを行い、実物を見る・課題の作成をするなど活発な授業を行う。授業ごとの感想レポートは演習の振り返りを行い自己のスキルをアセスメントする。課題の必要性を見出したり方法と結果の記入により演習の参加度を充実させる。保育現場でおこりやすい子どもの体調不良やけがの対応のためには、保育者は一般的な日常の世話が出来ること・生活力があること以上のスキルと知識が必要となる。しかし、見たこともしたこともないケアは想像を超えるのか不十分な結果を招く傾向にある。一方、一度でも経験したことがあると安全で気づきと配慮のある実践ができるようになる。学生自身も身体を使い、手で触れるなどして子どもの保健Ⅰで習得した知識をフィードバックして理解を深めることが出来る。		
テキスト	「子どもの保健Ⅰ」佐藤益子・中根淳子 編著(ななみ書房)		
参考書・参考資料等	適宜資料配布 保育所における感染症対策ガイドライン 保育所におけるアレルギー対策ガイドラインなど各種ガイドライン		
成績評価の方法	授業ごとの課題レポート(40%) 保健だよりなど課題の提出(40%) ロールプレイングなどの参加度(20%)		
授業計画	授業の内容	到達目標番号	
第1回	保育における健康安全管理の実際：感染の実験、手洗い、各種ガイドラインの活用方法の説明		
第2回	保育における健康安全管理の実際：嘔吐物処理		
第3回	保育における保健的対応：3歳未満時への対応→調乳		
第4回	保育における保健的対応：個別的な配慮を要する子どもへの対応→与薬		
第5回	保育における保健的対応：個別的な配慮を要する子どもへの対応：→エビヘン注射		
第6回	保育における保健的対応：個別的な配慮を要する子どもへの対応：→喀痰吸引・経管栄養		
第7回	保育における保健的観点を踏まえた保育環境及び援助：身体測定、母子手帳確認、妊婦体験		
第8回	保育における保健的観点を踏まえた保育環境及び援助：沐浴		
第9回	保育における保健的観点を踏まえた保育環境及び援助：バイタルサイン測定		
第10回	子どもの体調不良等に対する適切な対応：救急蘇生→異物除去、視野体験		
第11回	子どもの体調不良等に対する適切な対応：応急処置→三角巾		
第12回	保育における保健活動の計画及び評価：保健だよりの目的・活用の方法、作成、課題の説明		
第13回	感染症対策：代表的な感染症のロールプレイング：説明・事例演習の紹介		
第14回	感染症対策：代表的な感染症のロールプレイング：内容・準備をグループワーク		
第15回	感染症対策：代表的な感染症のロールプレイング：事例演習発表		
定期試験	定期試験は実施しない		